

## ノート

## 兵庫県但馬地方における漁獲物の地方名称

松井芳房\*・大谷徹也\*

(2001年3月6日受理)

## Local Names of Fishes in the Tajima Region of Hyogo Prefecture

Yoshifusa MATSUI\* and Tetsuya OHTANI\*

キーワード：但馬地方，漁獲物，地方名称

漁獲物の名称が地方により異なることはよく知られている。<sup>1)</sup> また、同じ名称で呼ばれる漁獲物が地方によっては別種を指す場合もある。たとえば、地方名「ひら」は山口・福岡ではサッパ、広島(尾道)ではオキヒイラギ、愛媛ではヒラマサを指す。<sup>2)</sup> このような状況は時として情報の混乱を招くことから、標準和名と地方名の対応を明らかにしておくことは重要なことである。

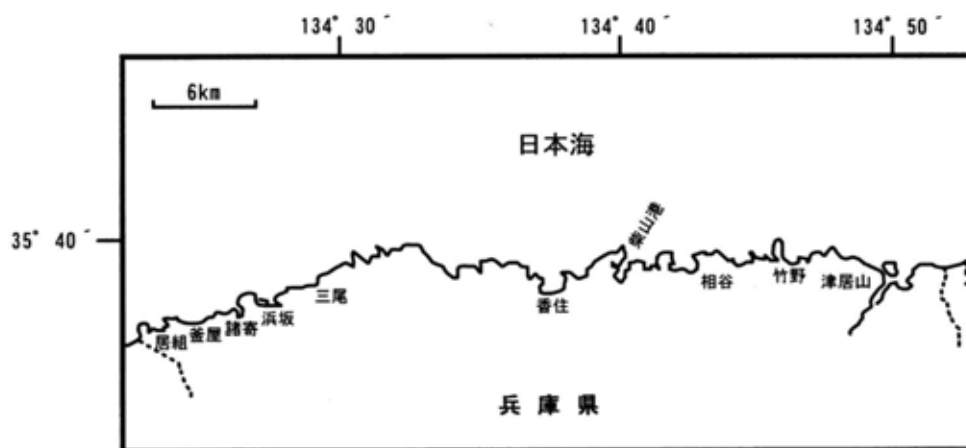
兵庫県下における過去の報告事例では松田ら<sup>1)</sup> 兵庫水試<sup>3,4)</sup> 片山<sup>5)</sup> などがあるが、今回但馬地域に水揚げされる主要な漁獲物の地方名を明らかにしたのでここに紹介する。

調査は第1図に示した地区を対象に実施した。あらかじめ5漁業協同組合(3支所を含む)に調査票の記入を依

頼した上で、記入者と面談し内容の確認を行った。なお、標準和名で呼ばれることが一般的な魚種については、それ以外に用いられている呼称を地方名として記載した。

結果を第1表に示した。特徴として、沿岸漁業対象種では各地区で変化に富むのに対し沖合漁業対象種では変化に乏しいこと、県西部あるいは東部のみで用いられる名称がありそれぞれ鳥取県あるいは京都府の影響を受けていることが示唆された。また、近年では情報や物流の発達・広域化、漁船乗組員の交流等に伴い、名称の均一化、地域外からの名称の流入などの傾向が認められた。

最後に、調査の実施にあたり多大なご協力を頂いた各漁業協同組合職員および組合員の方々に、この場をお借りして厚くお礼申し上げる。



第1図 調査地域図





文 献

- 1) 松田泰嗣・角田隆彦：兵庫県における漁獲物の地方名称. 兵庫水試研報, (25), 65-70(1987).
- 2) 水産庁南西海区水産研究所: 瀬戸内海産魚類とえび類の方言集, 南西海区水産研究所業績, 209, 1988, pp.50.
- 3) 兵庫県水産試験場：兵庫県下食用鮮魚介類呼称便覧, 1941, pp.1-64.
- 4) 兵庫県水産試験場：日本産魚類方言集, 1941, pp.1-131.
- 5) 片山正夫：但馬沖の魚類, 山陰海岸国立公園十年の歩み (山本茂信, 藤原道治編), 1973, pp.225-233.